

適合施設 チェックリスト

ネイルスクールおよびネイルに関する授業・講習等における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン Ver.8

受講生とスタッフの健康を守り、安心して授業・講習を受講していただくため、以下の22項目の感染症対策を実践しましょう。
JNA認定校は、本チェックリストに基づき感染症対策を実践することでJNAのホームページより「実施宣言ステッカー」を取得することが出来ます。実施宣言ステッカーをサロンに掲示して、感染防止対策に取り組み、さらにクリンリネス(清潔で衛生的で快適な状態)を実践していることを宣言しましょう。

2022年12月26日更新

実践項目	具体的な内容
教室・講習会場の設備・環境 全般に関わる事項	
1 手指消毒剤等の常備 (教室・講習会場入口等)	<input type="checkbox"/> 手指に用いる消毒剤または除菌剤等を設置し、入口で手指消毒を行ってから入室するよう促している。 <input type="checkbox"/> ドアノブ等は、適宜、消毒または除菌を行っている。
2 対面遮蔽の工夫(実習時) 間隔をあけた席の配置 (座学時・実習時)	<input type="checkbox"/> 相モデル実習時は対面遮蔽用のスニーズガードを設置している。(※スニーズガードの設置が出来ない密接場面では、受講生・モデル共に、フェイスシールドとマスクの両方を着用することが望ましく任意)。大声で話さないよう努めている。 <input type="checkbox"/> 受講生同士が密接しないよう席の間隔を適切に空けている。(※席の間隔が狭い場合<目安として席の間隔が1m未満>は、換気に注意をしたうえで、側面遮蔽用のスニーズガードの設置も検討すること。) <input type="checkbox"/> スニーズガードの消毒または除菌を、適宜行っている。
3 モデルハンド(人工ハンド)を活用したトレーニング(実習時) およびリモートを活用した座学授業	<input type="checkbox"/> 実習を行う際には、可能な限り“人の手”ではなく、“モデルハンド(人工ハンド)”を活用したプログラムを導入し、密接および密集を避けている。座学授業においてはリモートの活用を検討している。
4 効率の良い換気・湿度管理	<input type="checkbox"/> 外気に面した窓やドアを開けられる施設では、送風機等(扇風機は室外に向けて使用する等)を活用して効果的な換気を行っている。窓やドアが開けられない施設では、建物に設置されている給排気設備を常時稼働させ、必要換気量(一人あたり毎時30m ³)を確保するよう努めている。室内空気質の確認として、CO ₂ 測定機を活用している。乾燥する場面では湿度40%以上を目安に湿度管理を行っている。 <input type="checkbox"/> 「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気の方法として窓開け換気が難しい場合には、空気清浄機(HEPAフィルターによるろ過かつ風量が毎分5m ³ 程度以上のものなど)を使用している。
5 教室・講習会場内のクリンリネス	<input type="checkbox"/> 教室・講習会場内はクリンリネス(清潔で衛生的で快適な状態)を心掛けている。
6 受講生の休憩スペース	<input type="checkbox"/> 休憩時間も密集・密接を避け飲食の際は横並びに座り、会話も控えて黙食を心掛ける。 <input type="checkbox"/> 効率の良い換気を行っている。
7 会計の際の留意点	<input type="checkbox"/> 可能な限り、電子決済を推奨し、カードリーダー、タブレット、キャッシュトレイ、ペン等も衛生保持に務めている。 <input type="checkbox"/> 現金、クレジットカード等の受け渡しが発生する場合には、受け渡し後に手指消毒を行うか、手指消毒が出来ない場合はコイントレイなどを使用している。会計後も手洗い等の衛生措置を講じている。
8 トイレ、手洗い設備等の衛生的配慮	<input type="checkbox"/> 適宜、トイレを清掃している。 <input type="checkbox"/> 液体石けん、ペーパータオルを備えている。共用タオルを使用していない。
9 廃棄物の処理	<input type="checkbox"/> ふた付きのゴミ箱を備え、ゴミはビニールに入れ適切な方法で廃棄している。 <input type="checkbox"/> 廃棄物の処理の際は、グローブとマスクを着用している。事後に手洗い等の衛生措置を講じている。
講師・スタッフの健康管理等に関わる事項	
10 講師・スタッフの健康管理	<input type="checkbox"/> 体調チェックに気を配り、健康管理(体温等)を記録している。 <input type="checkbox"/> 出勤を控える要件を理解している。体調が悪い場合には出勤せず、自宅療養する社内ルールを徹底している。 <input type="checkbox"/> 出勤後に少しでも体調が悪いスタッフが見受けられた場合や発熱など軽度の体調不良を訴えた場合は、簡易検査キットを活用して検査を実施している。陽性が判明した場合は健康フォローアップセンター等に連絡し、指示をおおぐことを申し合わせている。
11 マスクの正しい着用	<input type="checkbox"/> 講師・スタッフは飛沫感染防止のため、品質の確かな不織布マスクを、すき間なく着用することを心掛けている。
12 スタッフルーム等	<input type="checkbox"/> スタッフルーム内の密接・密集・密閉を避け、飲食の際は横並びに座り、会話も控え、黙食を心掛けている。 <input type="checkbox"/> 効率の良い換気を行っている。 <input type="checkbox"/> 歯みがき、お化粧直し等のマスクを外す飲食以外の場面でも会話を控えている。歯みがきエチケット(感染予防)を励行している。 <input type="checkbox"/> スタッフルームのクリンリネスを心掛けている。
受講予約・受付に関わる事項	
13 予約制の徹底	<input type="checkbox"/> 受講予約と受講定員を設定し、講習時間が延長しないよう努めている。
14 受講生の体調チェック(予約時)	<input type="checkbox"/> 受講予約にあたり、受講をお断りする要件を明記し、該当しない事を確認してから、受講の予約を受け付けている。
受講生に関わる事項	
15 受講生の体調チェック(受講当日)	<input type="checkbox"/> 体調が万全でない場合は、予約日を変更していただくようお願いしている。 <input type="checkbox"/> 検温を行い、当日の体調が良好であるかを伺って、マスクの着用確認を行ってから授業または講習をスタートしている。 <small>※商業施設内に施設がある場合は、商業施設の入り口等で既に検温を実施している場合、再度の検温は行わなくてもよい。</small>
16 マスク着用の確認	<input type="checkbox"/> 飛沫感染防止のため、マスクを正しく着用できているか確認している。 <input type="checkbox"/> マスクの着用が困難な受講生に対しては、施設のルールに基づいて対応が出来るようにしている。
実習に関わる事項	
17 実習を行う際の着衣等(受講生)	<input type="checkbox"/> マスク、清潔な実習着やエプロン、および必要に応じてフェイスシールド、アイガード、グローブを着用している。
18 丁寧な手指消毒	<input type="checkbox"/> こまめな手洗いを励行すると共に、施術のはじめに消毒剤を用いて擦式清拭消毒を丁寧に行っている。
19 実技授業・講習に関わる器具、用具、備品類の衛生管理	<input type="checkbox"/> 消毒済みの器具、用具、備品類を備え、実習終了後は、適切な消毒または除菌を行っている。 <input type="checkbox"/> コットン、ガーゼ、ペーパー類等は使い捨てとし、施術モデルが直接触れる備品類にも衛生的配慮を講じている。ペーパー等で覆うことの出来ない高頻度に接触する備品類等は、実習終了後に消毒または除菌を行っている。
20 各種用具の持ち手・化粧品等の外装部分の適切な衛生保持	<input type="checkbox"/> 各種筆類(ジェル用、アクリル用、アート用等)の持ち手部分、ネイルポリッシュ等の各種化粧品、ネイル材料のキャップや本体部分も、使用後は清拭している。
その他	
21 緊急時の対応	<input type="checkbox"/> 講師・スタッフおよび講師・スタッフの近親者に感染の疑いがある場合の対応フローを明確にし、共有できている。 商業施設内で営業している場合は、その管理部門と連携して適切な対応をとっている。ミーティングにリモートを活用している。
22 ガイドラインの遵守	<input type="checkbox"/> 「ネイルスクールおよびネイルに関する授業・講習等における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を参照しながら取り組みを実践している。